

津波に備える

平成30年3月5日公表の兵庫県津波想定を解説

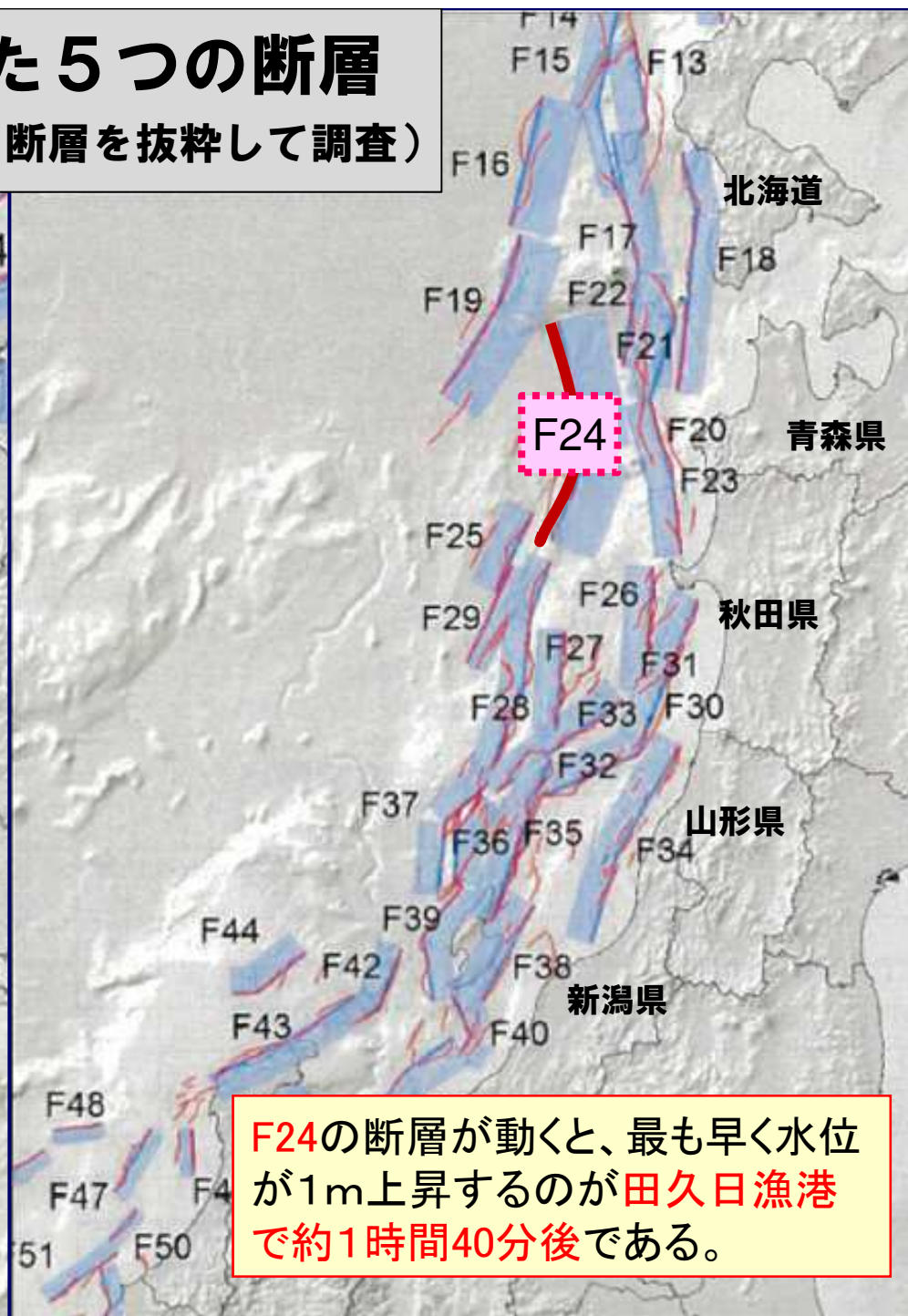
兵庫県の津波想定は、現在の科学的知見を基に、国と県が今後発生する可能性がある日本海津波による浸水深等を想定したのですが、実際の津波においては、浸水区域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があることに留意が必要です。

そのため津波発生時には、例え浸水区域外に滞在していても決して油断することなく、海や川などの水辺から離れいち早く高台に避難してください。

日本海津波は、持ち上げられる海水量が少ないため、太平洋側と比べると遡上力は弱いですが、到達時間が非常に短いことが特徴です。命を守るためには、速やかに避難を終えることが必要です。

兵庫県が津波想定を行った5つの断層

(兵庫県北部に影響を与える可能性のある断層を抜粋して調査)



このあと示す「**最高津波水位及び浸水深図**」は、兵庫県が発表した浸水深図をよりイメージしやすくするため、市が最高津波水位等を貼り付け合成したものです。

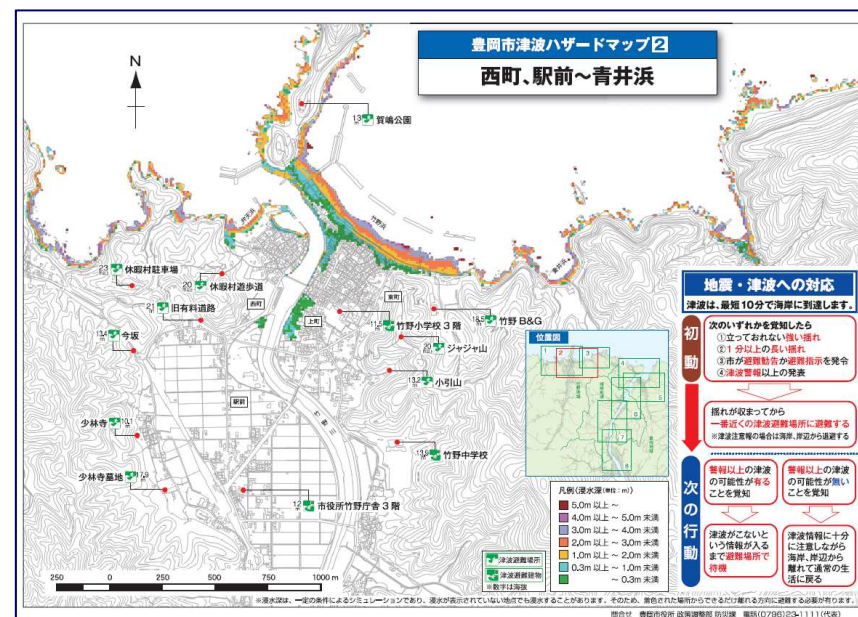
より詳細な浸水想定図や津波避難場所を確認したい場合は、市のホームページに、エリアごとの「**津波ハザードマップ**」を公開していますので、併せてご覧ください。

検索は、**[市HP]⇒[災害・防災]⇒[防災]⇒[防災マップ]⇒[津波ハザードマップ]**



最高津波水位及び浸水深図 (合成図)

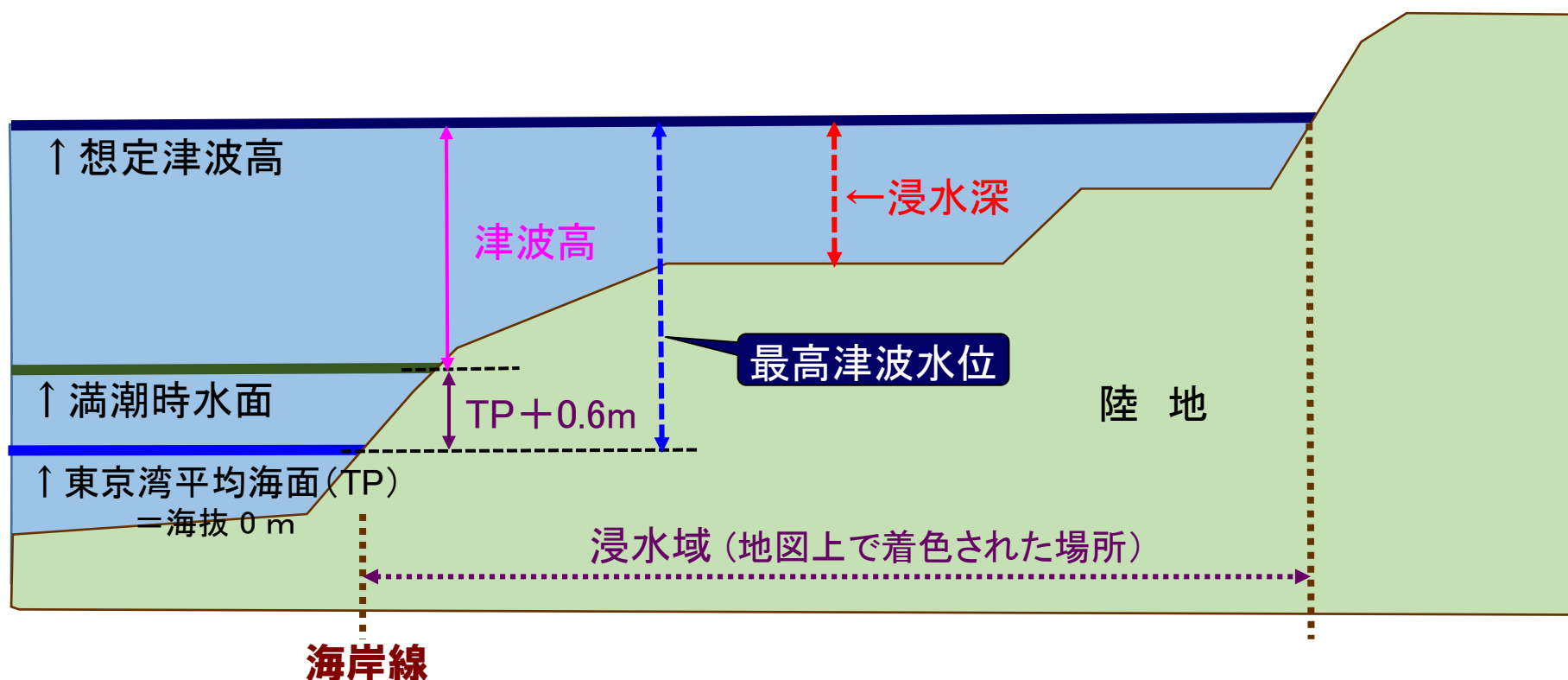
豊岡市津波ハザードマップ



◆「最高津波水位」と「浸水深」の違い

今回兵庫県が行った津波想定は、もし満潮時に津波が襲来したらという想定で最高津波水位並びに浸水深が示されている。

最高津波水位と浸水深の違いは、**最高津波水位** が海面からの津波高を示しているのに対して、**浸水深**は陸地における津波の深さを示していることにある。



最高津波水位及び浸水深図

凡例 [浸水深(m)]

- 5.0m以上 ~
- 4.0m以上 ~ 5.0m未満
- 3.0m以上 ~ 4.0m未満
- 2.0m以上 ~ 3.0m未満
- 1.0m以上 ~ 2.0m未満
- 0.3m以上 ~ 1.0m未満
- 0.3m未満

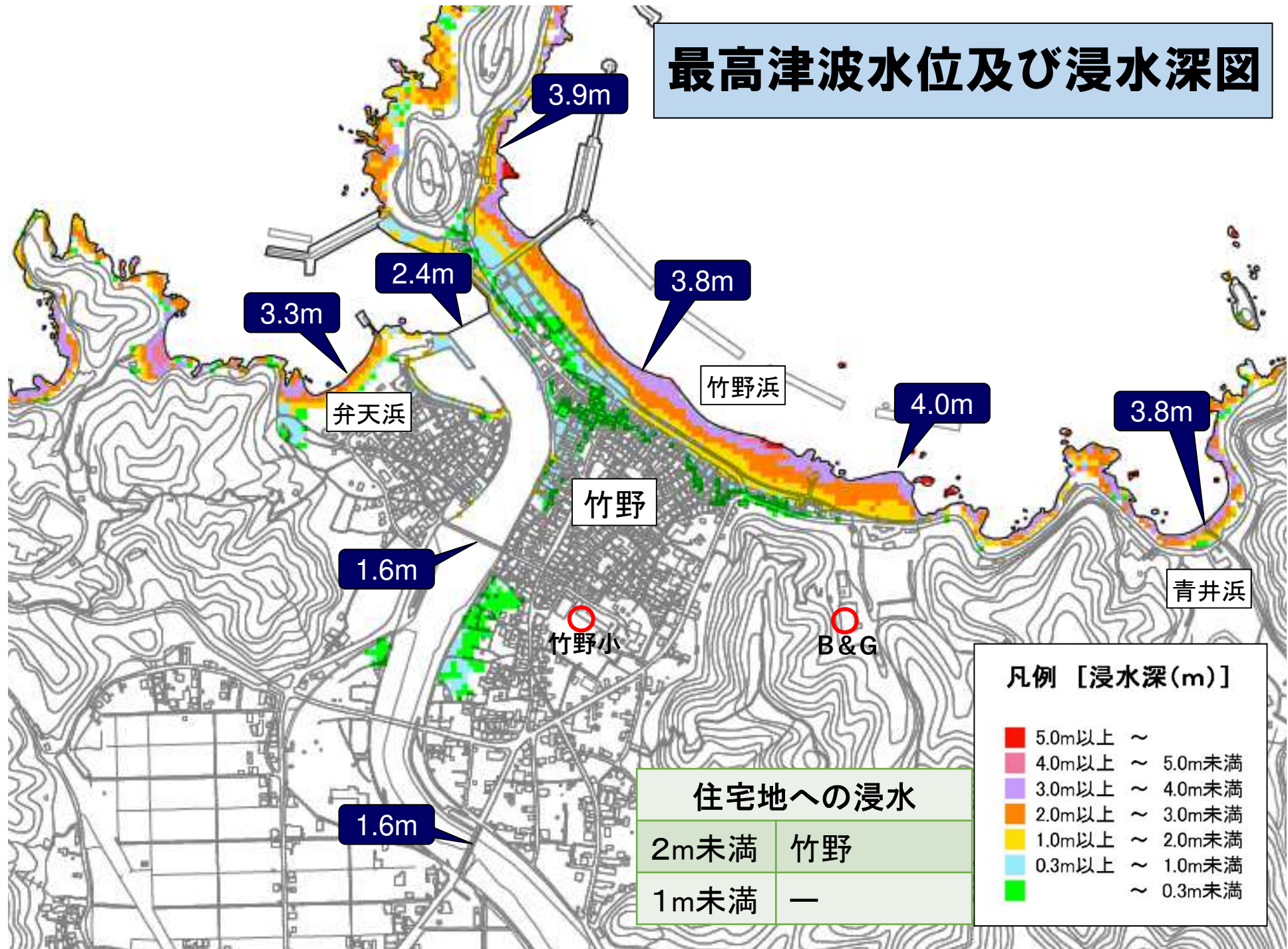
最高津波水位

【最高津波水位と浸水深の違い】

最高津波水位が海面からの津波高を示しているのに対して、浸水深は陸地における津波の深さを示している。



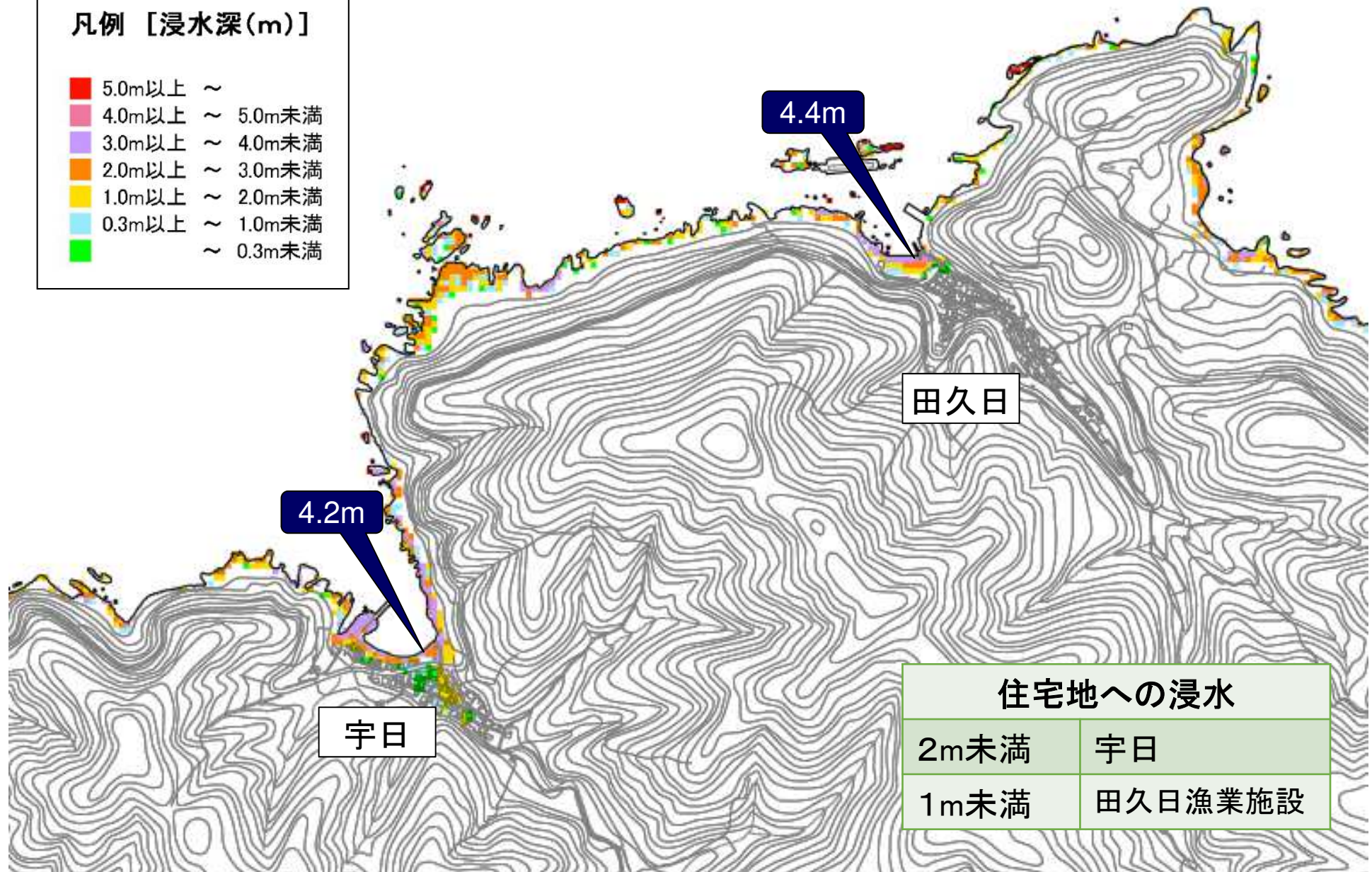
最高津波水位及び浸水深図



最高津波水位及び浸水深図

凡例 [浸水深(m)]

5.0m以上	～
4.0m以上	～ 5.0m未満
3.0m以上	～ 4.0m未満
2.0m以上	～ 3.0m未満
1.0m以上	～ 2.0m未満
0.3m以上	～ 1.0m未満
0.3m未満	～



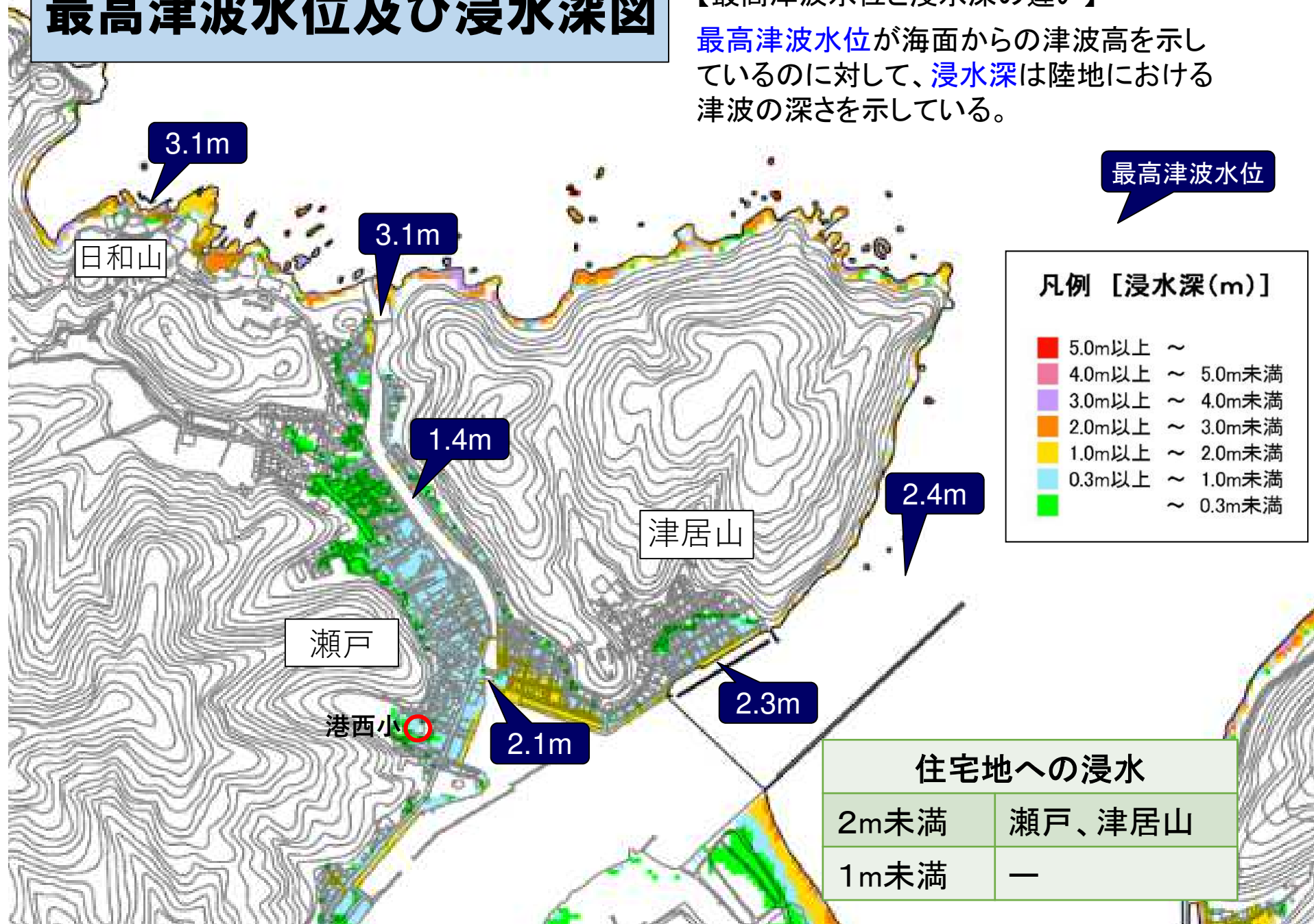
住宅地への浸水

2m未満	宇日
1m未満	田久日漁業施設

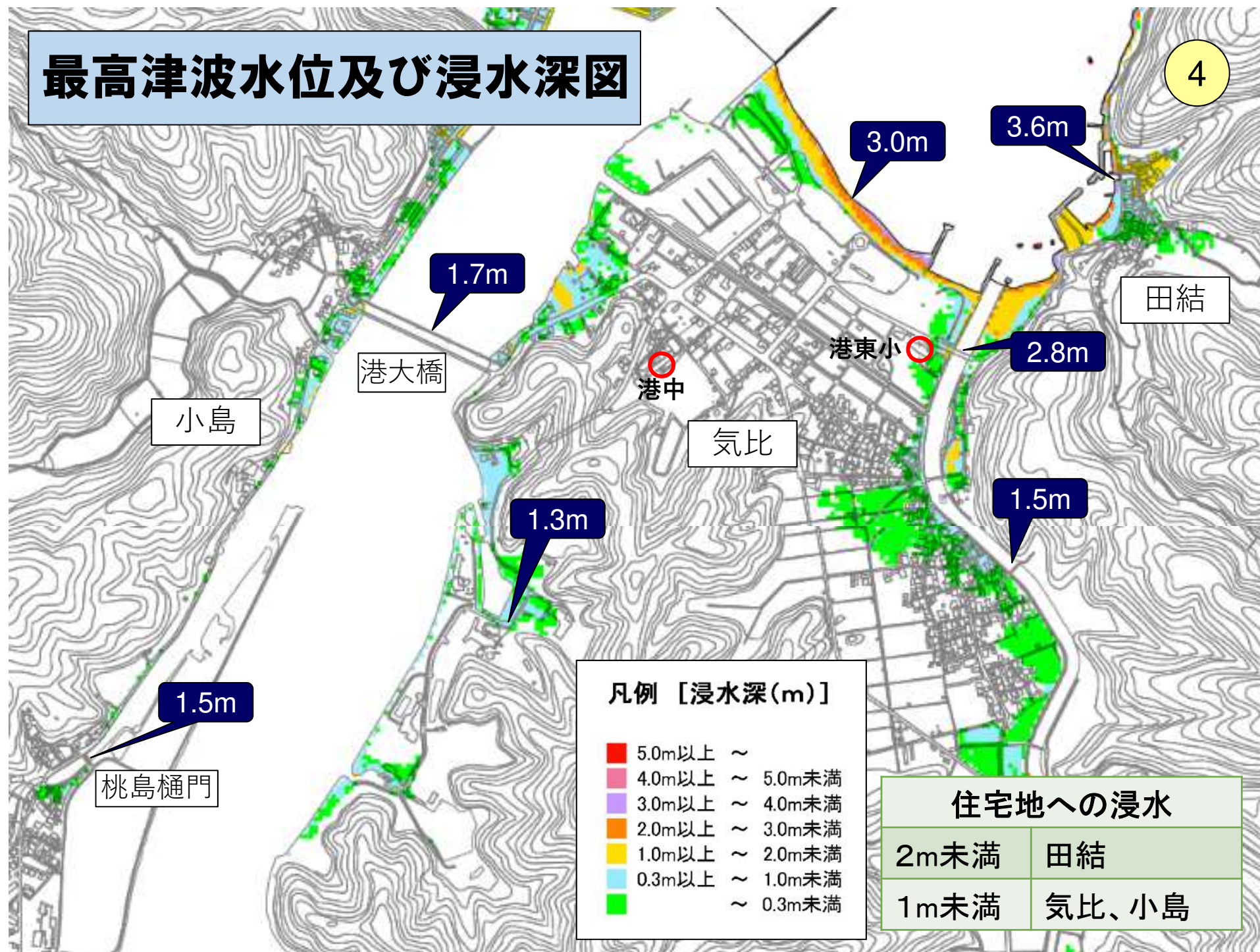
最高津波水位及び浸水深図

【最高津波水位と浸水深の違い】

最高津波水位が海面からの津波高を示しているのに対して、浸水深は陸地における津波の深さを示している。



最高津波水位及び浸水深図



凡例 [浸水深(m)]

5.0m以上	～	
4.0m以上	～	5.0m未満
3.0m以上	～	4.0m未満
2.0m以上	～	3.0m未満
1.0m以上	～	2.0m未満
0.3m以上	～	1.0m未満
	～	0.3m未満

住宅地への浸水

2m未満	田結
1m未満	気比、小島

最高津波水位及び浸水深図

【最高津波水位と浸水深の違い】

最高津波水位が海面からの津波高を示しているのに対して、浸水深は陸地における津波の深さを示している。

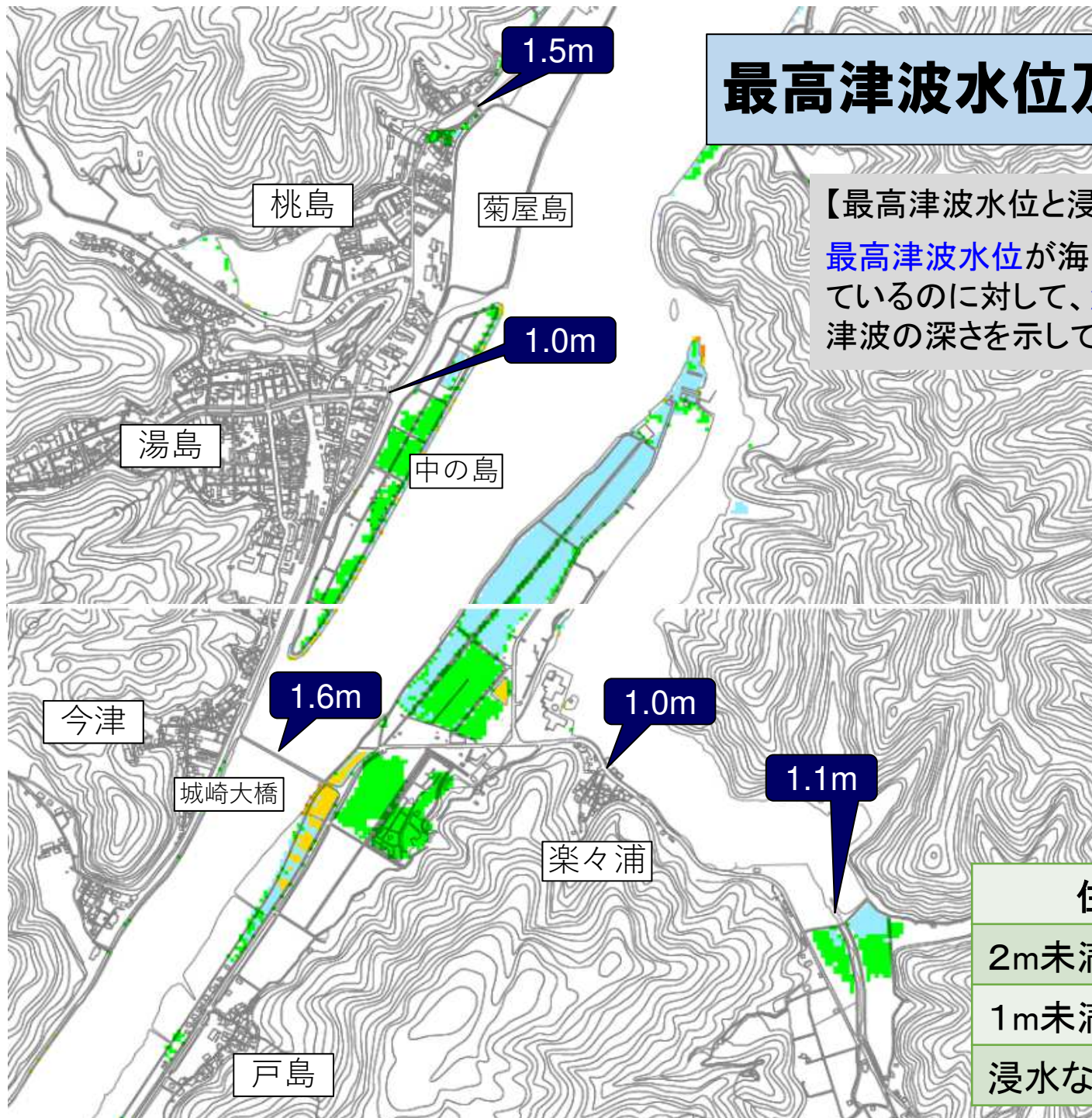
最高津波水位

凡例 [浸水深(m)]

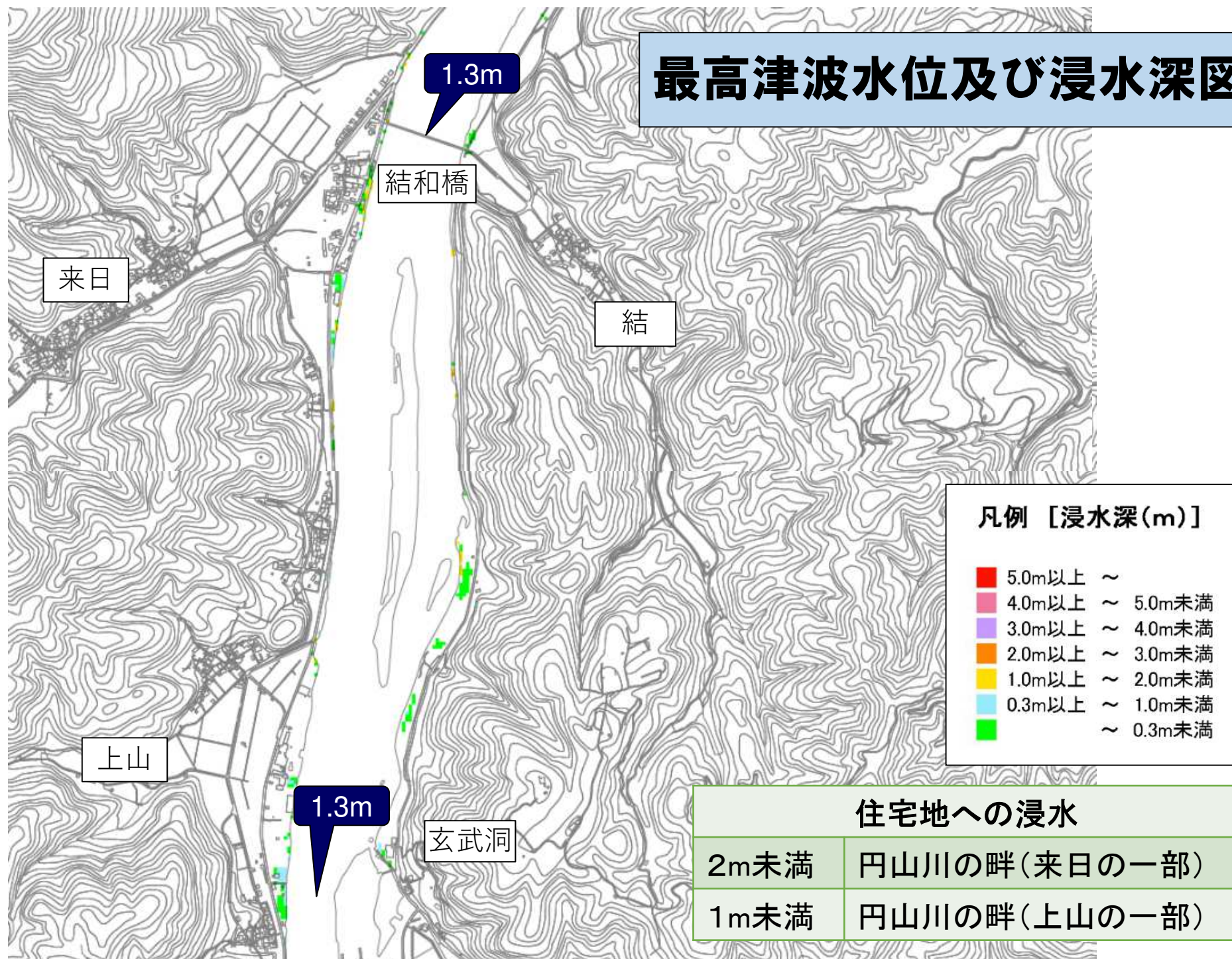
5.0m以上	～
4.0m以上	～ 5.0m未満
3.0m以上	～ 4.0m未満
2.0m以上	～ 3.0m未満
1.0m以上	～ 2.0m未満
0.3m以上	～ 1.0m未満
0.3m未満	～

住宅地への浸水

2m未満	—
1m未満	桃島の一部
浸水なし	城崎市街地



最高津波水位及び浸水深図



最高津波水位及び浸水深図

下鶴井

下鶴井川

1.1m

凡例 [浸水深(m)]

■ 5.0m以上	～
■ 4.0m以上	～ 5.0m未満
■ 3.0m以上	～ 4.0m未満
■ 2.0m以上	～ 3.0m未満
■ 1.0m以上	～ 2.0m未満
■ 0.3m以上	～ 1.0m未満
■	～ 0.3m未満

住宅地への浸水

2m未満

—

1m未満

—

浸水なし

豊岡地域(港を除く)

◆ 日本海津波の特徴を踏まえた留意点

(1) 近い断層が起こす津波 (到達時間が短い)

F54 断層(郷村断層)等のように兵庫県に近い海底断層で地震・津波が発生した場合、最も早く水位が1m上昇するのが日と山で約10分と非常に短い。そのため、立っておれないような強い地震に襲われたら、震源が近くにあると考え、浸水区域周辺の住民及び滞在者は、気象台等からの情報を待たず、直ちに避難を開始することが必要である。

(2) 遠い断層が起こす津波 (遅れて津波が来る)

青森県沖のF24 断層のような日本海東縁部(北陸から北海道にかけての日本海側)の断層も兵庫県内に高い津波をもたらすことがある。この場合、例えば揺れを感じなくても1時間以上後に津波が到達することがあるから、本市に津波注意報が発表されたら海岸や河川から退避、津波警報以上が発令されたら最寄りの高台や3階以上の堅牢な建物への避難が必要である。

◆ 地震・津波への対応

初動

次の何れかを覚知

- ① 立っておれないような強い揺れ
- ② 1分以上続く長い揺れ
- ③ 市が避難指示を発令
- ④ 津波警報以上の発表

揺れが収まってから
一番近くの**津波避難
場所に避難**する

【参考】 津波注意報の場合は海、川から退避する

次の行動

A 警報以上の津波の可能性
が **無い** ことを覚知

津波情報に十分注意しながら、海、川から離れて
通常の生活に戻る

B 警報以上の津波の可能性
が **有る** ことを覚知

津波がこないという情報が入るまで**避難場所で待機**

津波警報・注意報の区分

分類	予想される津波の高さ		
	高さの区分	発表される値	
大津波警報	10m超	10m超	巨大
	5m超～10m	10m	
	3m超～5m	5m	
津波警報	1m超～3m	3m	高い
津波注意報	0.2m～1m	1m	—

巨大地震が発生したときは、速やかに危険を知らせるため、数値での発表前に「巨大」「高い」等の表現で発表する場合があります。

津波注意報で海や川から退避、津波警報以上で高台に避難